

人生の嵐に遭う時に

人生には色々の波があります。穏やかな時もあれば嵐もあります。試練はよく失敗、病気、生き分かれ、死、悲しみなどの形で近づいて来ます。嵐に会うと私たちの人生の土台が試されます。試練の最中で土台を作り始めるのはもう遅いのです。

私は20才の時に大きな嵐にぶつかりました。重い心臓病で一年間入院になりました。初めの三か月間はいつ死ぬか分からない状態が続きました。その時に自分なりに考えてきた人生論も宗教論も痛みや疲れで全く意味を失ってしまいました。永遠の土台が必要になりました。死の恐怖と罪責感で悩まされました。また、なぜ私がこんな目にあっただかという疑問の中に自分自身には頼りにする所はなにもありませんでした。

しかし神様のみ言葉である聖書を通してイエス・キリスト様が私に近づいてすべての問題を解決して下さいました。

聖書には次のような約束があります：「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。」私はその通りにして自分の罪を告白しました。イエス様は素晴らしい答えを与えて下さいました：「私はあなたを愛しています。あなたのすべての罪を今赦します。あなたが今死んでも、死の向こう側でもあなたを愛し続けています。」

この答えによって心に深い平安が与えられました。イエス様は人生の揺るぐ事のない永遠の土台なのです。

イエス様の御声を聖書を通して聞いて、それに従って行くとあなたにも永遠の救いが与えられます。イエス様の御手からあなたを奪い去るようなことのない素晴らしい救いなのです。

主イエス・キリスト様の言葉：「わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは永遠に、決して滅びることがなく、また、だれも彼らをわたしの手から奪い去りはしません。」